

愛媛県立川之江高等学校 令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	歴史総合
単 位 数	2単位	学年・類型	第1学年・全クラス
使用教科書	歴史総合 新訂版（実教出版）		
補助教材等			

1 学習目標

- 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国際的な視野から捉え、近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けます。
- 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時代や年代、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、自らの考えを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けます
- 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けます。

2 学習方法

- 歴史を単なる暗記科目と捉えず、因果関係や国際関係など多角的な視点でとらえながら学びましょう。
- 様々な資料やグラフ、図を読み解きながら、歴史を深く探究しましょう。
- 自分で考えたことを表現し、他者と協働的に学んでいきましょう。
- 身近なものと歴史とのつながりにも目を向けてみましょう。新聞の記事などからも学ぶことで、より内容の理解が深まり、関心が高まります。

3 学習評価

(1) 評価の観点の趣旨と方法

観点	評価	評 価 の 観 点 の 趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能		諸資料を活用し、課題を追求したり解決したりする活動を通して、私たちの生活や身近な地域で見られる諸事象を基に、それらが日本や世界の歴史とつながっていることを理解している。また、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。	○定期考査 ○提出物
思考・判断・表現		近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史と関わらせて、私たちの生活や身近な地域で見られる諸事象と世界の歴史との関連性について考察し、表現することができる。また、現代的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現できる。	○定期考査 ○提出物
主体的に学習に取り組む態度		私たちの生活や身近な地域で見られる諸事象を主体的に追究しようとしている。また、自ら学習計画を立て、目標に向かって主体的に学んでいる。	○授業中の探究活動 ○提出物

(2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査(期末考査)の成績、課題の提出状況及び授業中の態度や発表内容等を総合して行います。学年末の評価は、各学期の評価を平均することにより行います。

4 学習のポイント

- 歴史の流れを理解するために因果関係を意識して学習しましょう。また、学習計画を立てて主体的に学んでいきましょう。
- 授業内容を理解するために教科書や副教材を読むなどの予習をしましょう。予習、授業、復習のサイクルを大切にすることで、内容がしっかり定着し、歴史の流れが分かるようになってきます。
- ノートや教科書には積極的に書き込みをしましょう。出来事が起こった背景など、教科書の行間を埋めるようなメモ書きを心がけて、オリジナルのノートを作っていくしましょう。
- 活発な発言や質問、議論を通して積極的に授業に参加しましょう。

5 学習計画（予定）

月	学習項目	学習のねらい・学習活動
4	「歴史総合」の学習について 第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 1 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2 幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 3 アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	・「歴史総合」の学習について、その意義や学習内容の概要、評価の方法などについて理解できるようにします。 ・17世紀における清を中心とした東アジアの冊封体制について理解できるようにします。 ・田沼政治の特徴と商品経済の発達及び寛政の改革の基本的な事柄を理解できるようにします。 ・18世紀ごろの欧米と東アジアの関係を表す資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめられるようにします。
5	4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5 フランス革命とウィーン体制 6 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7 オスマン帝国の衰退とロシア	・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争に関する基本的事項を理解できるようにします。 ・フランス革命とウィーン体制のはじまりや展開に関する基本的な事項を理解できるようにします。 ・アメリカ合衆国の発展やラテンアメリカの独立に関する資料から有用な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめられるようにします。 ・オスマン帝国の衰退やエジプト、イランの植民地化、ロシアの改革や外交に関する基本的な事項を理解できるようにします。
6	8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9 江戸幕府の滅亡 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 10 イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11 明治政府の諸改革	・アヘン戦争やインドの大反乱及び日本の対外関係の変化とその影響に関する基本的な事項を理解できるようにします。 ・幕末の幕府政治と薩摩、長州の動向及び王政復古に関する基本的な事項を理解できるようにします。 ・19世紀のイギリス、第二帝政以降のフランスの動きやイタリア、ドイツの統一に関する基本的な事項を理解できるようにします。 ・明治政府は天皇を中心とする中央主権国家を目指し、薩長を中心とする軍事力を背景に制度改変を進めたことを理解できるようにします。
7	12 日本のアジア外交と国境問題 13 自由民権運動と大日本帝国憲法 第4章 帝国主義の時代 14 帝国主義の時代へ	・近代日本が、西洋近代国家の論理で中国と対立して中華の華夷秩序の解体を図り、琉球を併合し、朝鮮への侵略を進めたことを理解できるようにします。 ・自由民権運動の成果である私擬憲法と大日本帝国憲法の条文を比較し、民権家と政府がそれぞれ国民の権利を対照的に捉えていたことを読み取れるようにします。 ・帝国主義に関する資料から有益な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめられるようにします。
8	15 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16 日清戦争後の東アジア 17 日露戦争と東アジアの変動	・日清戦争における日本軍の朝鮮農民への弾圧が朝鮮社会に与えた影響や、植民地としての台湾の領有を主張したことの意味について考えをまとめ、表現できるようにします。 ・日清戦争の経緯を踏まえ、「日本は日清戦争に勝ったのか」を考えます。 ・日露戦争と東アジアの変動に関する資料から有益な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめられるようにします。
9	18 日本の産業革命 第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	・社会運動が高揚した背景について考え、現代社会との共通点や相違点について自分の考えをまとめられるようにします。

10	第5章 第一次世界大戦と大衆社会	
	19 第一次世界大戦	・ 第一次世界大戦にいたる国際関係や戦争の基本的事項を理解できるようにします。
	20 ロシア革命とソ連の成立	・ ロシア革命とソ連の成立に関する基本的事項を理解できるようにします。
	21 米騒動とデモクラシー	・ 米騒動が発生した背景を、シベリア出兵との関連から説明できるようにします。
	22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制	・ ヴェルサイユ体制が反民族解放的な性格を持つものであったことや国際連盟の設立により、集団安全保障の原理が採用されたことを理解できるようにします。
	23 アジアの民族運動	・ 欧米列強が、従来の植民地支配体制の再編を余儀なくされたことを踏まえ、こうした独立運動の動きに日本はどう関わるべきだったか考えます。
11	24 第一次世界大戦後の欧米諸国	・ 戦間期のヨーロッパの問題点やアメリカがヨーロッパの動きに関わる理由を説明できるようにします。
	25 広がる社会運動と普通選挙の実現	・ 普通選挙法や権利獲得を求める動きとそれへの規制や弾圧の関係、問題について自分の考えをまとめられるようにします。
	第6章 経済危機と第二次世界大戦	
	26 世界恐慌と各国の対応	・ 世界恐慌と各国の対応に関する基本的事項を理解できるようにします。
	27 ファシズムの時代	・ ファシズムの特色とドイツ、イタリアの対外侵略に関する基本的事項を理解できるようにします。
	28 満州事変と軍部の台頭	・ 満州事変以降の日本の国際的孤立における出来事と背景を理解できるようにします。
12	29 日中戦争と戦時体制	・ 日中戦争の展開について、中国国内の状況と関連させて理解できるようにします。
	30 第二次世界大戦の勃発	・ 第二次世界大戦の勃発に関する基本的な事項を理解できるようにします。
	31 第二次世界大戦の終結	・ 戦時下における人権侵害と第二次世界大戦の終結に関する資料から有益な情報を選択して活用し、自分の考えとしてまとめられるようにします。
	32 国際連合の成立と冷戦	・ 国際連合の成立と冷戦の開始、ヨーロッパとアジアにおける冷戦の深刻化に関する資料から有益な情報を選択し、自分の考えとしてまとめられるようにします。
	33 日本占領と日本国憲法	・ 占領軍による民主化政策について、人々はどのように受け止めたのか、また残された課題は何かについて、自分の考えとしてまとめられるようにします。
	34 朝鮮戦争と日本	・ 戦争に加担したことや再軍備を進めたことについて、歴史の選択肢としてその是非を話し合い、自分の考えとしてまとめられるようにします。
1	第3編 グローバル化と私たち	
	第7章 冷戦と脱植民地化	
	35 植民地の独立	・ 独立できた国や南南問題、南北問題、第三勢力とは何かについて理解できるようにします。
	36 米ソ両陣営の動揺	・ 米ソ両陣営と中華人民共和国との関係を理解できるようにします。
	37 日本の国際社会復帰と高度経済成長	・ 日本の1950年代から1970年代の動きを具体的に理解できるようにします。
	第8章 多極化する世界	
2	38 石油危機と世界経済	・ 石油危機による世界経済の変化やアジアの経済成長、新自由主義について理解できるようにします。
	39 緊張緩和から冷戦の終息へ	・ 米ソの緊張緩和と新冷戦、その後の冷戦終結が何をきっかけとしていたのか考えます。
	40 日本の経済大国化	・ 経済大国とよばれた日本のバブル経済とその崩壊をグラフから読み取り、その前後にどのような経済の変化があったのか理解できるようにします。
	第9章 グローバル化と現代世界	
	41 地域紛争と対立	・ 戦争や紛争の原因が何かを考え、その解決に必要な政策や認識を自分の考えとしてまとめられるようにします。
	42 国際秩序の変容	・ 地域統合の在り方とEUが抱える課題について判断し、平和の維持に必要なことについて、歴史を踏まえて自分の考えをまとめ、表現できるようにします。